

令和7年度 江戸川区立船堀第二小学校 特別活動全体計画

校長名 則岡 小織

学校の教育目標	東京都教育委員会並びに江戸川区教育委員会の教育目標を踏まえ、人権尊重の精神を基盤に、個性や能力に応じ主体的に活動できる児童を育成する指導内容や指導方法の充実を図る。また、家庭・地域社会との連携を深め、我が国や東京都、江戸川区を愛する心と、多様な文化に対する理解を深める機会を充実し、豊かな人間性・創造性の育成を目指した教育目標を設定する。*進んで学習する子ども、思いやりのある子ども、じょうぶな子ども
特別活動の目標	望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団の一員としてよりよい生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てるとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
目指す児童像	友達と共に、学級、学年、学校の文化を創り、発展させていく児童
特別活動の重点目標	(1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。(2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定したりすることができるようにする。(3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。

目標	学級活動				児童会活動				クラブ活動				学校行事			
	指導の方針				主な指導内容				各教科・読書科				他の教育活動との関連			
目標	学級や学校での生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級での話し合いを生かして自己の課題の解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすること、自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。				異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営すること、自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。				異年齢の児童同士で協力し、共通の興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けるようにする。 ○ 共通の興味・関心を追求する活動を楽しむ豊かな生活を送るために話し合い、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようとして、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしていく態度を養う。				全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。			
指導の方針	○ 学級における集団活動に進んで参加することや意識的に健康で安全な生活を送ることの意義について理解するとともに、そのために必要となることを理解し身に付けるようにする。 ○ 学級や自己の生活、人間関係をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定したりすることができるようにする。 ○ 学級における集団活動を通して身に付けたことを生かして、人間関係をよりよく形成し、他者と協働して集団や自己の課題を解決するとともに、将来の生き方を描き、その実現に向けて、日常生活の向上を図ろうとする態度を養う。				○ 児童会やその中に置かれる委員会などの異年齢により構成される自治的組織における活動の意義について理解するとともに、その活動のために必要となることを理解したり行動の仕方を身に付けるようにする。 ○ 児童会において、学校生活の充実と向上を図るための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○ 自治的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、多様な他者と互いのよさを生かして協働し、よりよい学校生活をつづらねようとする態度を養う。				○ 同好の仲間で行うクラブ活動を通して興味・関心を追求することのよさや意義について理解するとともに、活動に必要なことを理解し活動の仕方を身に付けるようにする。 ○ 共通の興味・関心を追求する活動を楽しむ豊かな生活を送るために話し合い、解決するために話し合い、合意形成を図り、意思決定したり、人間関係をよりよく形成したりすることができるようにする。 ○ 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、協力して目標を達成しようとして、現在や将来の生活に自分のよさや可能性を生かそうとしていく態度を養う。				1の資質・能力を育成するため、全ての学年において、全校又は学年を単位として、次の各行事において、学校生活に秩序と変化を与え、学校生活の充実と発展に資する体的な活動を行うことを通じて、それぞれの学校行事の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考え実践できるような指導する。			
主な指導内容	全ての学年において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考え実践できるような指導する。 (1) 学級や学校における生活向上の諸問題の解決 学級や学校における生活をよりよくするための課題を見出し、解決するために話し合い、合意形成を図り、実践すること、学級内の組織づくりや役割の自覚、学校生活の充実や向上のための、児童が主体的に組織をつくり、役割を自覚しながら仕事を分担して、協力し合い実践すること。 ウ 学級における多様な集団の生活の向上 児童会など学級の枠を超えた多様な集団における活動や学校行事を通して学校生活の向上を図るため、学級としての提案や取組を話し合って決めること。 エ 日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 ア 基本的な生活習慣の形成 身回りの整理や挨拶などの基本的な生活習慣を身に付け、節度ある生活にすること。 イ よりよい人間関係の形成 学級や学校の生活において互いのよさを見付け、違いを尊重し合い、仲よくしたり信頼し合ったりして生活すること。 ウ 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 現在及び生涯にわたって心身の健康を保持増進することや、事件や事故、災害等から身を守り安全に行動すること。 エ 食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成 給食の時間を中心としながら、健康に良い食事のとり方など、望ましい食習慣の形成を図るとともに、食事を通じて人間関係をよりよくすること。 (3) 一人一人のキャリア形成と自己実現 ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成 学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。 イ 社会参加意識の醸成や働くことの意義の理解 清掃などの当番活動や係活動等の自己の役割を自覚して協働することの意義を理解し、社会の一員として役割を果たすために必要となることについて主体的に考え行動すること。 ウ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用 学ぶことの意義や現在及び将来の学習を自己実現とのつながりを考えたり、自主的に学習する場として、学校図書館等を活用したりしながら、学習の見通しを立て、振り返ること。				学校の全児童をもって組織する児童会において、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考え実践できるような指導する。(1) 児童会の組織づくりや児童会活動の計画や運営 児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見出し解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2) 異年齢集団による交流 児童会が計画や運営を行う集会などの活動において、学年や学級が異なる児童と共に楽しく触れ合い、交流を図ること。 (3) 学校行事への協力 学校行事の特質に応じて、児童会の組織を活用して、計画の一部を担当したり、運営に協力したりすること。 令和7年度の委員会 ・代表・放送・健康・集会・給食・運動・園芸飼育・読書・掲示・環境・新聞 計11委員会				主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、次の各活動を通して、それぞれの活動の意義及び活動を行う上で必要となることについて理解し、主体的に考え実践できるような指導する。(1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 児童が主体的に組織をつくり、役割を分担し、計画を立て、学校生活の課題を見出し解決するために話し合い、合意形成を図り実践すること。 (2) クラブを楽しむ活動異なる学年の児童と協力し、創意工夫を生かしながら発表活動の成果について、クラブの成果の発表・発表活動の成果について、クラブの成果の発表・発表活動を生かし、協力して全校の児童や地域の人々に発表すること。 令和7年度のクラブ ・陸上・サッカー・バスケットボール ・室内スポーツ・バドミントン・バレーボール ・剣道・手芸・ものづくりサイエンス・イラストマンガ ・プログラミング・ボードカードゲーム ・ミュージック・音遊び 計13クラブ				○ 儀式的行事 学校生活に有意義な変化や折り返し目をつけ、厳粛で清らかな気分を味わい、新しい生活の展開への期待付けとなるようにすること。 ○ 文化的行事 平素の学習活動の成果を発表し、自己の向上の意欲を一層高めたり、文化や芸術に親しんだりするようすること。 ○ 健康安全・体育的行事 心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の醸成、養育力の向上などに資するようすること。 ○ 遠足・集団宿泊的行事 自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようすること。 ○ 勤労学生・奉仕的行事 勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようすること。			
各教科・読書科	○各教科等の指導で身に付けた言葉を的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする。特に、学級会の進め方などの指導は、国語科の学習内容との関連を図って指導する。 ○「学校図書館の利用」や「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」や「食育の観点から踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」などは、国語科や体育科、家庭科の学習とも関連を図って指導する。				各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自発的な学習に生かしたりできるようにする。				各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の個性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようにするとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。				○儀式的行事：学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一員としての自覚を高めるようにする。 ○文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表・交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労学生・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。			
他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲よく助け合うことを、中学年では、友達と互いに理解し信頼し助け合うこと、みんなで協力し合って楽しい学校をつくること、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。				下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活を送ることを、中学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。				4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり続けること、尊敬と感謝の気持ちをもって接すること、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。				○健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成を図る。 ○遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○勤労学生・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。			
道徳	外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。				外国語活動で学んだコミュニケーションの場面や動きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。				「相手との関係を円滑にする」「事実を伝える」「考えや意図を伝える」「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。				外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。			
総合的な学習の時間	総合的な学習の時間を通して身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。				総合的な学習の時間を通して学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童会等の企画・運営などに生かせるようにする。				総合的な学習の時間を通して学んだ問題解決のプロセスにおける創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。				総合的な学習の時間を通して学んだ問題解決のプロセスの解決や探究活動として行われる体験活動と遠足・集団宿泊的行事との関連や総合的な学習の時間に行われる社会のかかわりや生産の喜びを体得し、社会奉仕の精神を養う体験を行う勤労学生・奉仕的行事との関連を重視する。			
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校での生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個人や家庭の状況に配慮し、家庭での指導との連携を図り、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。				児童会活動においては、「家庭や地域の人々との連携、社会教育施設等の活用などを工夫することが大切である。具体的には、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりすることである。				児童の興味・関心を基本としながら、低学年からのパソコンの授業の経験から関連付けて、外部講師等の教育力を活用したりすること、児童の実態や特性を考慮した活動を促す。				子どもも登下校時の安全を確保するため、学校では防犯教室、交通安全教室の開催、安全マップの作成、通学路の点検、青色防犯ハットロール等を実施するとともに、家庭、地域社会、ボランティア等の協力を得て交通安全指導及び防犯ハットロールを推進する。			
備考																